

10月1日(金)18時よりWeb開催されました。平日の業務終了後でしたが、29名の会員の参加がありました。

はじめに情報提供ということでマンモグラフィ装置 selenia Dimensions の装置特徴について高橋かつら会員より発表していただきました。指紋認証での技師登録や撮影条件の過去歴参照など便利な機構が搭載されているようです。

続けて「日常臨床での MRI の工夫や知って欲しいこと」のテーマで、講座と工夫に分けて発表が行われました。

講座は「MRI の基礎」大曲厚生医療センターの戸嶋卓也会員から発表していただきました。新人教育用とのお話でしたが、限られた時間の中で十分すぎるほどの内容でした。

工夫は2施設より発表がありました。「当院で行った非造影上肢 MRA～撮影法と反省点～」について雄勝中央病院の藤原康陽会員が発表されました。撮影前後に試行錯誤したことがよく伝わりました。結果は今後の検査に大いに活かされていくものと思います。「意思疎通不可患者における画質安定化を目指した腹部 MRI の運用」について市立角館総合病院の千葉大志会員が発表されました。意思疎通の種類分けとシーケンスの組み合わせをしたところが大変ユニークだと感じました。

県南では久々の学術についての研修会でしたが、内容に基礎と工夫の両方を盛り込んだことで、多くの方に興味を持っていただけたのではないかと思います。

文責:高橋